

名寄高新聞

美術部特集

北海道名寄高等学校新聞局

2020.10.26

発行責任者 小原圭乃



攝待あいみ部長の入選作「振り返る瞬間」

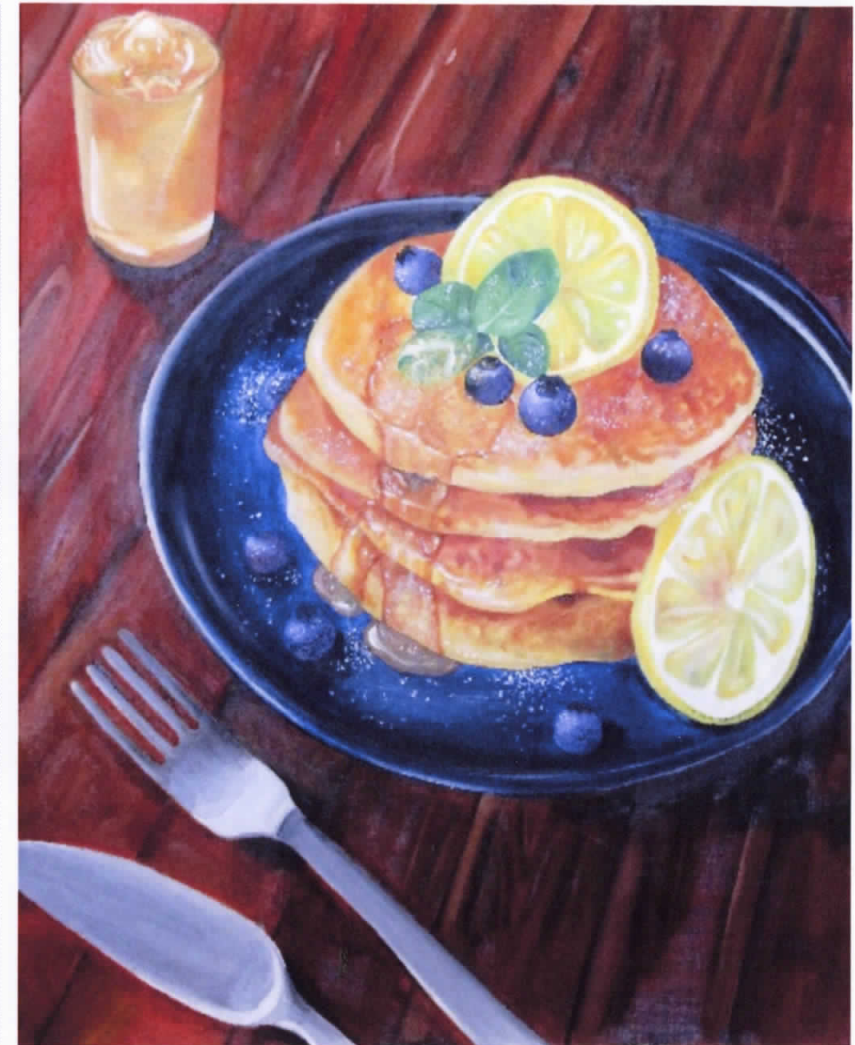
攝待部長「振り返る瞬間」入選

第54回高文連北支部美術展・研究大会が9月14日におといねっぶ美術工芸高校で行われ、攝待あいみ部長(2B)の油絵「振り返る瞬間」と川東優香さん(2C)の油絵「至福のひととき」が入選、高島愛凜さん(2A)の水彩画「愛があるなら」が佳作となった。

今大会は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で生徒の参加はなく、作品のみ会場に持ち込まれ、

支部美術展：おといねっぶ美工高

川東さん「至福のひととき」入選



川東優香さんの入賞作「至福のひととき」

参加した8校の顧問により作品審査だけが行われた。名高美術部からは4部員の4作品が出品された。

攝待部長「強く若い人を描く」

入選を果たした「振り返る瞬間」を描いた

収した上で描いた方が良いとアドバイスもらったので、留意した。今回は2週間半程度で完成させたが、来年は制作日数を十分に取、コツコツやりたい」と語った。

川東さん「木や金属の質感に力」

高島さん「愛があるなら」は佳作

攝待部長は「絵全体のバランスを取るため優先順位を考えて、細かくバランスが取りやすい目から描いた。色使いでは、特にオレンジの光と青い光が肌に反射しているところに気を付け、強く若い人を表現した。昨年は直感で描いていたが、先輩から構図は色々な物を調べ、実際に物を見て、それらを吸

「至福のひととき」で入選した川東さんは

(裏面へ続く)

「テストの後に食べたホットケーキがとても美味しく、それが一番の至福だったのでこの作品を描いた。ケーキはふわふわ感を出すのに工夫し、木はマスキングテープを利用して1枚1枚を別々に描き、違いを表現した。ホットケーキを目立たせるため皿の色を暗くし、金属の質感を出すために光ったところと影のところを工夫した。今後は下書きが上手く描けるようになりたい。また、1年次から金属を描いているので、来年も金属を描きたい」と、笑顔で語った。

高島さん「海の表現を工夫」

「愛があるなら」を描き佳作となった高島さんは「いろいろ調べている時に、死海にドレスを沈めると塩で白くなる実験を見て、急に海を描きたくなった。海の写真や動画をたくさん見て、色の重ね方や光と影を工夫し、海の表現に力を入れた。服のしわは写真と空想の中間の形で描いた。去年、先輩から教えてもらった人物画が画家本人に似る傾向があると聞き、人物画が自分に似ないようにした。これからは画材や道具をもっと使って描きたい。そして、時間をもっとかけ、根気よく絵を仕上げていきたい」と話した。

齊藤さん「手と花瓶で人を表現」

「神の二想像」を描いた齊藤愛佳さん(1B)は「花瓶が割れていることが分かるようにすることと、花瓶の色を黒っぽい赤で血のように表現したかった。そして、立体感が出るように工夫し、手と花瓶全体で人間を表現した。油絵は初めてだったので難しかった。水彩とは全く違ったので、試行錯誤しながら描いた。もっと油絵を勉強しておけ



佳作となった高島愛凜さんの「愛があるなら」



齊藤愛佳さんの「神の二想像」

ば良かったと後悔した。先輩方の絵は金属や木や肌の質感がすごくて圧倒された。次は自分も質感を工夫し、想像画ではなく実際にある物をそのまま写し取るような絵を描きたい」

と先を見据え語った。

なお、今大会で入賞を果たした摂待部長と川東さんの2作品は、全道大会での審査を受ける。

全道2人で成長感じた 摂待 あいみ 部長

今大会で美術部全体で2人が全道に選出され、2年生全体の成長を感じて嬉しかった。今年度は夏休みが短かったこともあり、取り組む時期が遅くなってしまった。その影響で、部員5人中4人は何とか間に合ったが、1人は締め切りに間に合わなかった。今後は声を掛け合うなどして、美術部全員で参加できるように心掛けたい。

今年はコロナの影響で臨時休業になってしまったこともあり、1年生に画法などの技術を教えることができなかった。しかし、油絵に触れる機会が少ない中でも、よく描けていたので良かったと思う。

今後はどんな状況の中でも、計画的に作業ができるように、部全体で工夫し頑張っていきたい。

積極的な活動が実を結ぶ 佐川 大樹 顧問

例年は夏休み中に制作していたが、今年は夏休みも短く、締め切り前にはテストが重なり、部員のほとんどが家での制作というイレギュラーな状態となった。しかし、2年生を中心とした普段の積極的な練習が実を結び、レベルの高い作品を出展でき、強豪のおといねっぶ美術工芸高校を含む道北支部枠で上位の方で全道大会に2人が選

出された。全道大会での審査も期待できる結果となった。

現在も自主的に本を積んだりしてそのデッサンを練習している様子がみうけられる。引き続き、今後も意欲的に練習に励んでほしい。そして、2月上旬にU-21の美術展を控えているので、これを目標に練習の成果を発揮して作品を制作してほしい。